

りそな経済フラッシュ

(日米協調介入とドル/円見通し～これまでの介入～)

2026年8月3日
りそなHD 市場企画部
担当：苅谷

- ▶ 単独介入は急激な円安に対する「時間稼ぎ」としては有効ながらも、トレンド転換に至るケースでは別途円高材料の存在が確認されている。
- ▶ 一方で、市場が最も警戒していた「協調介入」が実施され、ドル/円は大きく円高で反応。

1.ドル/円とこれまでの為替介入



※2022/10、2024/4・5、2026/4・5は複数回の合計介入額と最大値幅

出所：Bloomberg

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

りそな経済フラッシュ

(日米協調介入とドル/円見通し～協調介入～)

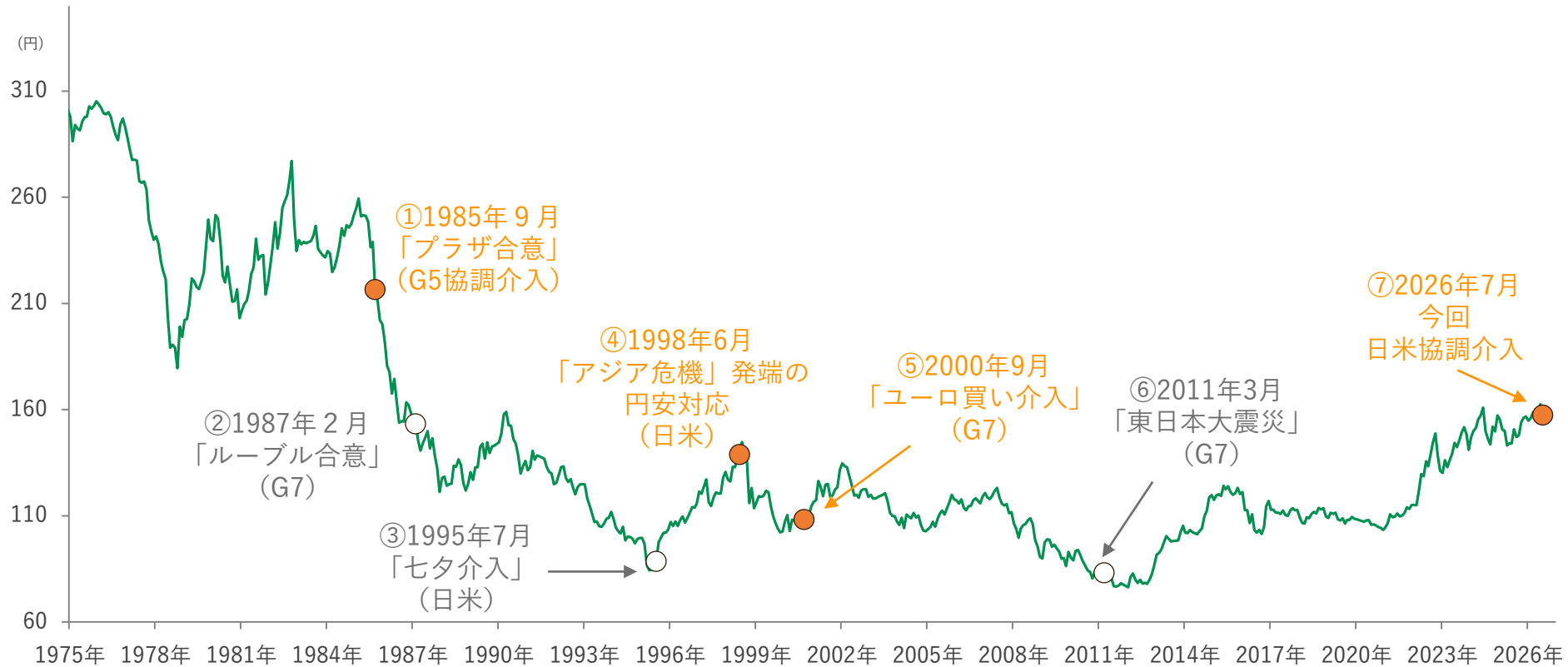
2026年8月3日
 りそなHD 市場企画部
 担当：苅谷

- ▶ 過去の協調介入では、ドル/円のトレンド転換に至った例もみられており、単独介入とは異なる影響力を有する。
- ▶ 今回の日米協調介入も、一方向の円安トレンドを変える契機となるか注目される。

2. 協調介入はトレンド転換に一役買ってきた

【過去の協調介入】

赤●：ドル売り介入 白○：ドル買い介入



出所：Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

りそな経済フラッシュ

(日米協調介入とドル/円見通し～今後のドル/円見通し～)

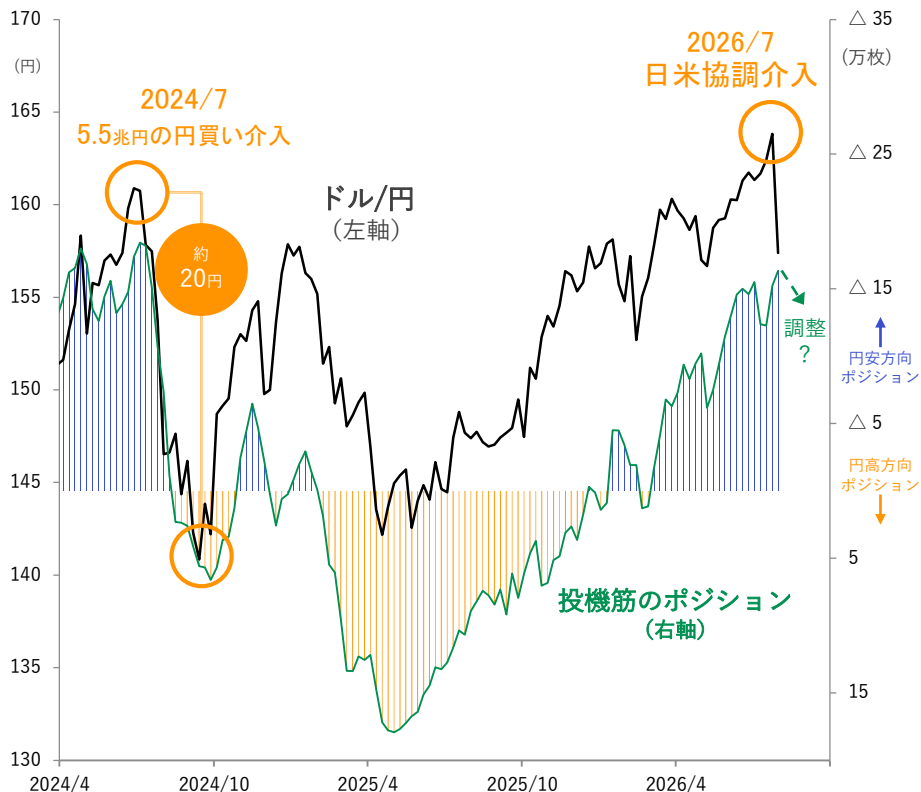
 2026年8月3日
 りそなHD 市場企画部
 担当：苅谷

- ▶ 日米協調介入を受け、短期的には投機筋のポジション整理を通じた円高進行を予想する。
- ▶ 一方、金融政策格差や構造的な円売り圧力は不変であり、ポジション整理一巡後は再び円安方向へ回帰する展開をメインシナリオとする。

3. 投機筋のポジション整理による円高余地

2024年の介入後は約20円下落。足元でも投機筋の円売りポジションは高水準にあり、ポジション整理を通じた円高余地が意識される。

【投機筋のポジションとドル/円】



4. 中長期的には円安基調へ回帰

新NISAによる对外投资やデジタル赤字、貿易赤字など、構造的な円安圧力は不変であり、ポジション整理一巡後の円安回帰を後押しする。

【構造的な円売り圧力】

年間 デジタル赤字 (恒常的な円売り)	約7.1兆円
新NISAを通じた 海外株買い (個人マネーの海外流出)	約6.8兆円
貿易赤字 (実需の円売り)	約2.6兆円
日米金利差 (キャリートレードの動機)	10年 約1.8%

他にも…人口減少の速度や潜在成長率の低さなど

出所：Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。